


池子の森返還

必ず成し遂げる！



少児医療費助成制度
18歳まで拡充！
所得制限なし！

現 逗子市長

桐ヶ谷さとる

point

地域に必要な医療を考え医師会と連携し今度こそ病院誘致を

「逗子市に必要な病院とは」 逗葉医師会 田嶋会長と対談

過去4回の病院誘致を断念した要因として病床数の割り当てのみならず医師会との地域医療の問題について綿密に協議が出来ていなかったのも原因の一つで、今では医師会との信頼関係はかつてないほど強固な連携が図られています。

今回、逗葉医師会 田嶋博雄会長と「逗子に必要な医療とは?」「近隣病院と連携して逗子の医療を支える体制」をどのように作っていくか、そのためには、どのような病院を誘致可能かなど有意義な対談を行いました。内容は「桐ヶ谷さとのHP」にて紹介。



医師会と手を携えて目指す地域医療のため共に頑張っていきたい

桐ヶ谷さとる 逗子市長

市長とこのようにざっくばらんと話せる環境になったのは初めて!

逗葉医師会 田嶋会長

近隣病院と連携し、逗子の医療を支える

+ 逗子市の総合的病院誘致の経緯

年	名乗りをあげて断念した総合的病院	当時の市長
2001	(社)湘南病院	平井義男
2005	国家公務員共済組合連合会 (KKR)	長島一由
2009	聖テレジア会	平井竜一
2016～20	医療法人社団葵会	平井竜一 / 桐ヶ谷さとる

横須賀うまわち病院と連携した病院

救急受け入れ数全国1位「湘南鎌倉総合病院」、2位の「横須賀共済病院」がこの地域に存在。この恵まれた環境の中、回復期の病床が不足していることから国もモデル地域に指定して地域医療構想を進めようとしております。

例えば、「横須賀市立うまわち病院」と連携し、小児医療を診る病院など、逗子に必要なとされる病院を誘致すべくこれからも県・医師会・専門家を交え協議を進めていきます。

湘南鎌倉総合病院



全国
救急受入数
No.1

横須賀共済病院



全国
救急受入数
No.2



連携

- 回復期病院
- 回復期病院
- 回復期病院



point

本当にやって良かった

01 あたたかい中学校給食が開始！

あたたかくて美味しい中学校給食がスタート！
中学生に感想を聞きました。

桐ヶ谷 「中学校給食(食缶)はどう？」

生徒A 「食べてるよ。美味しい♪」

生徒B 「あたたかいから嬉しい♪」

生徒C 「残さず食べてるよ(笑)」

桐ヶ谷 「給食食べてくれて嬉しいな。
もっと美味しくなるように頑張るから」

生徒 「市長有難う。お願いします。
じゃあ行ってきま〜す(バイバイ)」



point

これから

02 ボーネルンドが逗子に来るよ！



(株)ボーネルンドと「遊びを通じた子どもの居場所づくり」を充実させるために協定を締結しました。

「移動子どもの遊び場」開催

11月27日(日) 10:30 ~ 15:15

第一運動公園内「こども広場」

(雨天時 逗子小学校体育館)

定員: 親子合わせて

各回40名・無料

申込フォームより申込

(応募者多数の場合は抽選)



point
01

いくつになっても元気で安心なまち

健康寿命
を延ばす

1) ふれあいバスで元気に外出促進

趣味や友人との交流を促進し、健康に繋げて頂きたく京浜急行バス「ふれあいバス」の助成制度を導入します。



2) 補聴器の購入費用の助成

聴力が低下し、生活に支障が生じている高齢者に補聴器の購入費用の一部を助成します。



小さな音が聞こえるから嬉しいです。助成制度を作ってくれるのは助かります。

3) 市内の散歩を楽しむ

 バリアフリー化の促進やベンチの増設をします。

4) e-sportsゲーム(太鼓の達人)で脳年齢引き上げ

高齢者サロンや市内各所に設置し楽しく外出促進。



「難しいなあ〜」
これしか点数いかないの(汗)

市長 VS. 副市長 @スポーツの祭典

point
02

災害から命と生命を守る

防災

1) 防災DXで「崖崩れ」を監視

親機・子機・傾斜設置計を設置しセンサーで監視中



就任以来、既に30箇所以上の「崖崩れ」が発生しており、国からも積極的に工事費用を獲得し速やかな工事を行ってきました。民有地対策のため「防災工事費助成制度額」を200万円に増額し対策が進んでいます。急傾斜地へセンサーを設置し常に監視する体制を取っています。



現場第一主義

point
03

池子の森 45年ぶり返還へ！

全力で取り組みます！



池子の森

米軍との共同使用となっている池子地区の返還に向けて協議を進めています。まずは「逗葉地域医療センター」進入路から市民の憩いの場となるよう更なる活用を進めます。



逗葉地域医療センター進入路

1) スタートアップ企業のための拠点を支援

「スタートアップ企業化支援拠点」を整備し、大学や研究機関、投資家などからアドバイスをもらえるように推進していきます。

2) 小坪漁港までシーレーン(海上交通)整備

逗子海岸から小坪漁港まで海上からアクセス可能となるようシーレーン(海上交通)の整備を県に働きかけ交通渋滞緩和を目指します。



小坪漁港

3) 新たな逗子の魅力をアピール



海洋教室

魚のさばき方教室

漁業体験

- ☞ JR逗子駅前の交通渋滞解消と憩いの場作り。
- ☞ JR東逗子駅には「子育て支援機能」を充実させ地域活性化に繋がります。
- ☞ 小坪漁港は新たに収益性に富んだ新しい漁港の展開を行い賑わいづくりを進め魅力向上に繋がる施設の有効活用を推進します。

1) 地域の足の確保

山の上にあるアーデンヒルや南ヶ丘・光明寺団地などミニバス導入に代わる地域交通の足の確保について民間と連携し必ず実現させます。



逗子海岸



アーデンヒル花の森公園

2) クラウドカメラと映像分析AIセンサーを活用し混雑状況(逗子海岸)を可視化

カメラと映像分析を利用して混雑状況を可視化し、更に災害、防犯への利用。安心安全な逗子海岸だけでなく、一歩先への逗子海岸を目指します。

3) 大学との連携協定締結

国立大学法人電気通信大学・慶應義塾大学SFC研究所などと連携協定を締結。「データサイエンティスト養成講座(50万円相当)」市民無料枠を提供して頂きスキルアップを応援。ワーケーションなども実現し自動運転の実証実験やデータ分析など連携して進めていきます。

4) 保育的機能を持つ「短時間就労支援」(女性の新しい働き方)

「時短で働きたい」を支援します。子育てをしながら安心して働くことができる「地域就労支援」を推進していきます。

